たんぽぽ通信

11月1日発行　237号

ケアハウス王喜の郷　　令和8年11月号

Webページ　http://www.ryokujukai.jp

王喜の郷の輪　第36回

ケアハウス王喜の郷入居者へのインタビュー

今回は秋の学校行事、運動会・学芸会の思い出を入居者のT.Sさんにお聞きしました。

T.Sさん

同級生と話している時に、このお題の話しになり自然と思い出話になりました。私は昭和16年に小学校入学、昭和20年小学校5年生の時に終戦となりました。兄達は理由も分からず親も知らない他国に行き、命をかけた戦をしていました。小学生での学芸会といえば教科書を台本にして桃太郎、猿カニ合戦、はなさかじいさんをしました。運動会ではタスキリレー、玉入れ、綱引き等やっていました。足の速い子は何度走っても一着でしたね。

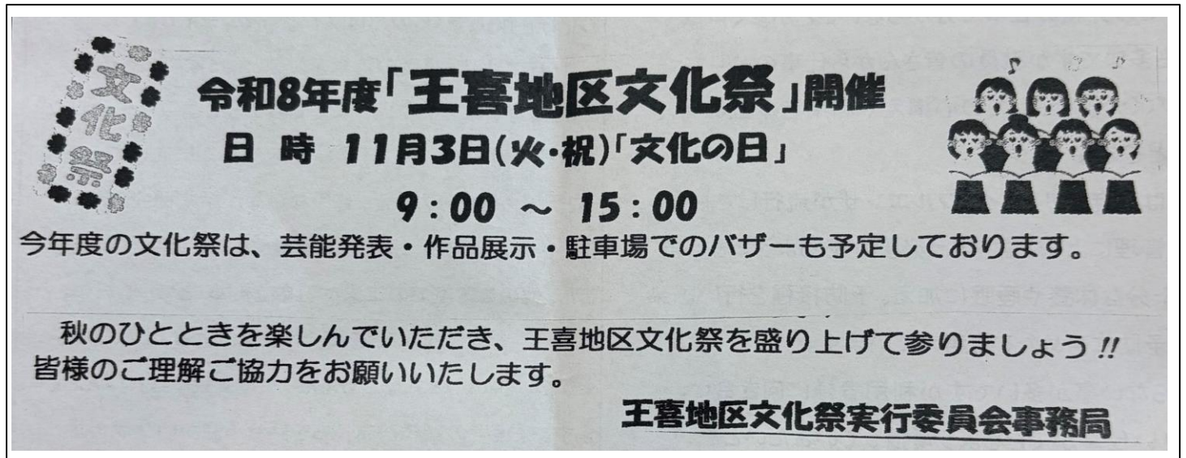
中学生になりました。ある時先生が「さ、皆、今年から学芸会、運動会も始めるぞ。Tちゃん（私の事）頼むぞ、遊戯もな。」と私たちに丸投げです。学芸会での劇は異国から帰った息子を出迎えに出た家族の家族愛でした。題名を”異国の丘”と名付けました。運動会のお遊戯は、ラジオから流れた当時流行っていた”憧れのハワイ航路”。そうです、マドロスさんです。洋服は父兄の、白いカッターシャツ、白いズボン。それらを持ち込んで一寸手直しをして着ました。着せました。

素晴らしいマドロスさんが生まれました。最後は上級生も、当日見に来ていた父兄も他校の学生も一体になって時間も忘れたかのように遅くまで踊っていました。

一人の先生がこんなことを言ってくれました。「この作者（私たち）は大した女達だ。」と。私は心の中で言いました。

私たちの勝ちだ、胸を張ってもいいのだと。この作品に関わった友人ありがとう、貴女達と組んでしたからこんなすばらしい作品が出来たよ。私は嬉しくて心の中で「大成功！最高だー！」と叫びました。

追伸　92歳の私が70～80年前のことを今回思い出しました。50%にもいきませんけれど、お許しください。



王喜の郷から出店します。うどん、焼きそば、ぜんざい、フライドポテト、唐揚げ、挽きたてコーヒーの販売をします。

ぜひ買いに来てくださいね。

巻頭言

１１月になり１２月の行事予定もま近になってきました。それらへの下準備で忙しい日々です。デイサービスでは山いっぱいの渋柿を剥き、干しました。さて最近入居、退去の方々の人数が増えています。生活をされるうえでのいろいろなきまりやまた行事などもあり戸惑われることも多いと思います。食堂の入口の白板、エレベーターのすぐ左に掲示板があります。主なものはそれらに掲示していますそれをご覧ください。十分ではありませんので職員に声をおかけください。職員も皆様の声を聴く姿勢が十分ではなく、うまくコミュニケーション（意思の疎通）が図れないことも多くあると思います。自分の言いたいことは「これ！」と言えないことも多いので互いに確認し合うことが大切です。皆様にお願いですが、くどくなってもかまいませんのでいろんな手段で（言葉、字、物を見せるなど）伝えてくださるようにお願いします。外出届に皆様がちょっとした外出まで書いていただいているのを見ると、大変感激します。それに書かれてもかまいませんし、「ご意見箱」を食堂の白板の横に置いていますのでそこに書いたものを入れていただいてもかまいません。よろしくお願いします。施設長　末谷千秋

厨房では週に一度手作りデザートを提供しています。

🍡11月のデザート🍰

①さつま芋と米粉のマフィン

②ベトナムぜんざい

③スイートポテト　　どうぞお楽しみに！

M.S様の入居されました。

11月のお誕生日＆行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 文化の日	4	5	6	7 立秋
8	9	10	11	12	13	14
15 七五三	16	17	18	19	20	21
22 小雪	23 勤労感謝の日	24	25	26	27	28
29	30					

*誕生日：お名前記載の方の誕生日です。…11月誕生者はおられませんでした。

**ﾋﾞｭｰﾃｨﾍﾙﾊﾟｰ：出張の理美容です。食堂白板に「料金表」と「申込み書」を貼っています。
料金はその場で現金支払いです。

事　業　所　だ　よ　り

2026年（令和8年)11月号

ケアハウス王喜の郷

朝晩の冷え込みが厳しくなってまいりました。

体調は大丈夫ですか?

これから、ますます寒くなり体調を崩す事がないように、しっかり栄養を蓄え、体調を整えてほしいです。

寒さに負けないように体を温める食材、生姜や根菜類、たんぱく質を積極的に摂るようにしましょう。それに、今、旬のさつま芋、栗、南瓜、きのこ類など香りや色彩が豊かな食材が豊富です。

栗ご飯やさつま芋を使ったデザート、きのこの汁ものなどメニューを工夫し、美味しく栄養を摂って頂けるように食事を作っていきたいと思っています。





調理師　向田智美

王喜の郷デイサービスセンター

木々の葉も色づき、季節の移ろいを感じる頃となりました。

10月5日よりデイサービスセンターに看護職員として入職しました松川美代子と申します。

私は小月の出身で、現在は菊川に住んでいます。

病院での勤務が長く、デイサービスでの勤務は初めてとなりますので、まずは、全体の流れをしっかりと学び、1日も早く皆様のお役に立てるように努めてまいります。

体調管理や安全面など、看護の視点からサポートし利用者の皆さまが安心してご利用出来るよう、また、スタッフが介護に専念出来るよう連携して行きたいと行きたいと考えています。

不慣れな事も多く、利用者の皆様や先輩職員に助けて頂きながら、頑張りますので、お気軽に声を掛けて頂けると嬉しく思います。



看護職員　松川　美代子

グループホーム王喜の郷ライム

秋も深まり、朝・夕と涼しく、過ごしやすい季節となりまし朝・晩と日中の温度差もあり、体調を崩しやすく、これからイ

ンフルエンザ等の感染症が流行しやすい時期になります入居者の方のちょっとした体調の変化を見逃さず、元気ごして頂けるような環境を作っていきたいと思います。

今月、ライムでも10・11月生まれの方の誕生日会を予定います。楽しんで頂けるような出し物を企画しています。

ぜひ、楽しみにされてください。





介護職員　田中　美優

グループホーム王喜の郷

だんだん朝夕肌寒くなってきました。早いもので11月です。今年もあと2ヶ月となりました。

先月、「らん伴」という認知症啓発活動を行っておられる方々が下関市内を走られるイベントがあり、この緑樹会にも立ち寄られました。グループホームの入居者も全員、応援で参加しました。らん伴の方々はとてもバイタリティがあり、私たちもたくさんのエネルギーをいただきました。入居者の方々の応援する姿を見て、今後もこのような活動等に参加出来たらと思いました。

今年はインフルエンザが早くから流行しているようです。手洗い、うがい、食事をしっかりとる、しっかり睡眠をとる・ウイルスを寄せ付けないよう、体調に気を付けて過ごしましょう。





介護職員　松永　端美

王喜の郷居宅介護支援センター

利用者さんとの話の中で「最近中々お通じがなくて」という話を聞きます。

便秘の原因として　・加齢による身体機能の低下・食生活の変化　・薬の副作用　・心理・生活環境・運動不足　・水分不足　・病気による影響等が原因となり、色々な要因が重なって発生する複合的な症状です。対策として一番大事なのは水分摂取です。寒くなりましたので喉が渇く事は少ないと思いますが、こまめな水分摂取を心掛け、散歩や足踏み等の軽い運動で腸の動きを促してみて下さい。

又朝食後便意は無くてもトイレに座る習慣をつけるのも排便習慣をつける一つの方法です。





介護支援専門員　石川　ゆかり

王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

日中も過ごしやすくなってきました。

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、皆さんは秋といえば何を思いうかべますか？

涼しく過ごしやすい季節となり、健康の為に身体を動かしたり、屋外やベランダに出てリフレッシュされるのも良いと思います。

昼夜の寒暖差がまだあるので、服装や暖房を上手に使用され、また体調に気を付け風邪などひかれないようにされてください。

訪問時には皆さんの日頃の様子を伺えればと思います。





サービス提供責任者　山田　朋子

王喜の郷ミントの家　シニアハウス王喜の郷

9月1日よりミントの家に配属となりました山本です。

初めての介護の仕事で分からないことが多く戸惑うことも多いですが職員の皆さんから仕事のやり方だけでなく介護士としての心構えや利用者本位の考え方などを学んでいます。

今年は例年より早くインフルエンザが流行しており、体調管理により注意を払う必要があるように思います。十分な休養や睡眠に加え、予防接種を行い感染症の予防に努めたいと考えています。

分からない事が多いですが利用者様に向き合い、より良い仕事ができるよう頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。





ミントの家　山本一也

放課後等デイサービス　さくら

10月の制作活動では、子どもたちが自分の手形を使ってお化けを作り、さくらのハロウィン作品が完成しました。

11月には、保護者の皆様を対象とした家族会を予定しています。家族会では、家庭での子ども達の様子や日々の生活で困っていること、学校生活や将来に向けての不安子どもとの関わり方など、普段なかなか話す機会のない思いや悩みを自由に話し合える場にしたいと考えています。また、他のご家庭での工夫や経験を聞くことで、新たな気づきや参考になることを見つけたり、「同じような悩みをもっているんだ」と共感しあえたりする機会になればと思います。保護者の皆様が気持ちを話せる温かい交流の場となるよう、職員も一緒に考え、より良い支援につなげていきたいと思います。





さくら支援員　和田　育恵